

第4次ボランティア市民活動推進計画（案）に係るタウンコメントの結果について

1 募集期間 令和6年1月26日（金）～令和6年2月26日（月）

2 提出者数 13名

3 ご意見等の件数 26件

4 修正した件数 0件

5 意見の概要及び市の考え方

（ご提出いただきましたご意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させていただいております。）

No	意見の概要	市の考え方	計画修正の有無
1	ボランティア市民活動センターのプロモーションについて、メディア、イベント、ボラ7を通して、広報を強化することは一番初めに手掛けるべきだと思う。	本計画においても、プロモーション活動は重要であると捉えています。 センターの認知度 30%以上という指標達成も含め、多くの方にボランティア活動の情報が届くよう広報活動に注力します。	無
2	ボランティアセンターの職員の方々にはいつも様々な相談に快く対応いただき感謝している。 センターに通う中で「おさがりバンク」という活動があることを知った。このような活動をより多くの方に知ってもらえるよう、大きく宣伝してもらえたらと思う。	本計画では、ボランティア市民活動センターの認知度も含め、広報、プロモーション活動に取り組むこととしています。 個別の活動についても、効果的なPRができるよう検討します。	無
3	ボランティア市民活動センターのプロモーションについて、イメージキャラクターを作ってイベント等に参加したり、チラシやシールを作成し配布するなどし、周知していくのも良いと思う。	センターの認知度向上を目指して、イメージキャラクターの利活用なども含めた効果的なプロモーション活動を検討します。	無
4	ボランティアイベントの開催について、長時間のイベントよりも短時間のイベントを複数設けてほしい。 その方が、いずれかに参加し、他団体など活動している方とのつながりを作る機会ができる。	いただいたご意見を参考にし、効果的な取組となるよう検討を進めます。	無
5	「しこちゅ〜ボラ7」として、高校生に活動の場を提供し、若いボランティアのこころを育てていることは大変素晴らしいと思う。 ボラ7以外の高校生ボランティアについても、「ボラ7通信」や「広報 四国中央」に掲載し、広く市民に周知してはどうか。 また「20歳代の方のボランティア体験談」などを市の広報で取り上げるのも良いのではないか。	本計画においても、若い世代のボランティア活動への理解、参加促進は必要であると認識しています。 いただいたご意見も踏まえ、若い世代の活動の見える化、継続した取組に繋がるよう検討します。	無

No	意見の概要	市の考え方	計画修正の有無
6	高校生ボランティアスタッフ「しこちゅ〜ボラ7」の活動を多くの市民に知ってもらい、十分に支援する取組が必要である。	公式インスタグラムや「ボラ7通信」などを活用し、より効果的な情報発信に努め、メンバーがボランティア活動や地域社会の担い手となれるような取組を検討します。	無
7	ボラ7通信は濃色の紙に印刷されていて写真が見えにくく、読みたいと思えない。せっかく作っているのに残念である。	いただいたご意見も踏まえ、修正が必要な部分ではできる所から改善し、今後も皆さんにご覧いただき、より多くの方に様々な情報を届けられる「ボラ7通信」となるよう取り組みます。	無
8	ボラ7通信をいつも楽しみに読んでいる。若い力が未来につながる希望の光になると感じている。		無
9	多忙な生活を送る中、ボランティアの意識があっても、行動に移すことは大変だと思うが、一人でも行動する人が増えることを願う。	本計画では、ボランティアは敷居が高いものという認識を少しでも取り除くことができるよう、コラムなどを取り入れました。 本計画の基本目標である「目指そう 市民いちボランティア」を目指し、市民の皆さん一人ひとりに取り組んでいただけるよう計画の推進に努め、啓発活動に取り組みます。	無
10	震災などがあつた場合「ボランティア活動」という言葉をよく耳にするが、もっと日常生活の中で普通に身近に「ボランティア活動」が普及することを願う。 大きな事をしなければと思うため、遠い事、他人事のように思っているが、自分のできる範囲で小さなことから、始めることができれば良いと思う。		無
11	「ボランティア」の本来の意味というか、何か手伝いや声掛けをした方が良く、という場面に遭遇した時、自然に当たり前のように声掛けや行動することができるのが理想。 市民一人ひとりがそう思って行動できたら、助け合って安心できる四国中央市になると思うので、そういう思いで活動していきたい。		無
12	若い頃は仕事で時間の余裕もなく、ボランティアには無関心だったが、今は友人に誘われ、楽しく活動している。 ボランティア活動をしたくても忙しくてできない、何をしたいのか分からない人も多くいると思う。活動する機会に繋がるよう情報発信をしてもらいたい。 また災害時のボランティアに関しては、高齢であり、現地での身体を使った活動は難しいため、心のケア、話を聞いたり、寄り添うことで、少しでもお役に立てればと思っている。	本計画において、「ボランティア市民活動を行うためのきっかけづくり」として、ボランティアに対する興味・関心から行動へステップアップするよう実施項目を設定しています。 また、広報戦略、情報発信と併せて、市民の皆さん一人ひとりがボランティア市民活動に取り組むことができるよう努めます。	無

No	意見の概要	市の考え方	計画修正の有無
13	研修会、各種講座に参加することはハードルが高いと感じる人もいると思うので、イベント等楽しい集まりの際に、ボランティア団体に参加してもらいなどし、体験学習（車イス、点字、手話等）ができる工夫をすると良いと思う。	様々な活動を気軽に体験できる場の提供に努め、体験学習の拡充を図り、ボランティア活動への興味を行動に移すきっかけとなるよう取り組みます。	無
14	同じ目的を持ったメンバーで集まり、組織化されたところでボランティア活動に興味を持ってもらう。ボランティアは特別なものと敬遠されがちだが、指導を少しすることによって、ボランティア精神を植え込み養うことが必要である。	ボランティア活動への興味を行動に移すきっかけづくりとして、初心者の方が集いやすい場を提供、ボランティア教育の強化に取り組みます。	無
15	ボランティア活動へのきっかけが大切である。一度活動を経験すると、ボランティアに関する広報にも興味が湧く。	ボランティア活動への関心を行動へ移すきっかけとして、体験プログラムの充実を図り、継続して取り組んでいただけるよう環境整備、ボランティア情報の提供に取り組みます。	無
16	災害が身近で発生し、ボランティア活動への関心が高くなっている。行動に移しやすくなるよう、気軽にできるボランティアの提案をしてほしい。		無
17	ボランティアをするには、お金や時間に余裕があり、健康で動けることが必要だと思う。もっと若い人達が必要だが、活動者が高齢化し団体の継続も危うい状況である。	本計画においても、若い世代のボランティア活動への理解、参加促進は必要であると認識しています。 若い世代の活動に繋がる効果的な情報提供やきっかけづくりを検討します。	無
18	ボランティア市民活動を行うためのきっかけづくりについて、自治会単位の働きかけの強化も大事ではないか。 各集会所等へ出向いて、研修会や講座、体験学習などができれば理想的である。	本計画では、各集会所等における研修会などについての言及はありませんが、広報戦略の一部に、公民館や各地域のコミュニティへ具体的な情報を伝達する仕組みを検討する旨を明記しています。 ご意見のとおり、活動のきっかけに繋がるよう、自治会への働きかけ等の取組の検討を進めます。	無
19	支援体制の充実として、シニア向けのパソコン研修を実施してほしい。	活動のレベルアップに繋がるよう、ニーズに応じた研修機会の充実に努めます。	無
20	団体、企業、個人それぞれに対する効果的なマッチングを行えるよう努めてほしい。	本計画において、「効果的なマッチング制度の創出」を実施項目に掲げ、依頼者と活動者、双方の満足度を高められるよう取り組みます。	無
21	いづれがボランティアをする側、される側になるかわからない状況であり、両者の努力が必要である。マナーやガイドラインはどうあるべきかを考えてほしい。	いただいたご意見を参考にし、ガイドラインとなるような考え方の構築についても検討します。	無

No	意見の概要	市の考え方	計画修正の有無
22	<p>ボランティアもSDGs(持続可能な未来を考えること)であり、する側もされる側もお互いによかったという思いが生まれる。市民の意識向上に繋がり、防災などにも生かせる。</p>	<p>本計画において、人と人が支え合う住みよいまちの実現を目指し、SDGsの視点を持ち、活動の魅力をより一層感じながら取り組んでいただきたいと考えております。</p>	無
23	<p>能登半島地震のニュースは胸が痛むが、人々の再起への力強さを感じ、助け合い、支え合うことの大切さを学ぶことができる。 人と人との繋がり、特に自治会への働きかけは高齢化が進む中では重要だと思う。</p>	<p>本計画において、ボランティア活動の有用性を広報する際に、災害時の人と人との繋がり的重要性も認識してもらえるような取組を検討します。</p>	無
24	<p>災害時のボランティアに関して、避難所体験ができると良いと思う。自分自身は聴覚障がい者への支援ができるため、サークル内でも災害について学習したい。</p>	<p>災害時に活躍できる人材の育成を目指し、活動に役立つ有益な講座の実施を検討します。また、自分の能力や環境に応じた役割を学んでいただけるよう、将来の活動へのきっかけづくりに努めます。</p>	無
25	<p>計画の内容は問題ないと思うが、ボランティアの認知度、取組の割合を上げる事などを考慮すると、具体的な行動計画を練り込み、アクションを起こす必要があると思う。 例えば、学校で行っている清掃やPTA・愛護班活動など、個々のボランティア活動を様々な人に知ってもらおう取組など。</p>	<p>本計画をベースとし、具体的な取組については、ボランティア市民活動推進協議会にも意見聴取しながら、個々の事案に見合った効果的な取組を検討します。</p>	無
26	<p>ボランティア市民活動センターについて、以前のように日曜日も開所してもらえるとありがたい。</p>	<p>センターについては、現在、月～金曜日は10時から18時半まで、土曜日は10時から17時まで開所しております。 日曜日の開所については、今後の活動状況の推移やニーズに合わせて検討します。</p>	無